

平成 30 年 6 月 10 日 (日) 施行

第 149 回 日商簿記検定試験 3 級 解説

第 1 問

1. 貸し付け、同額の約束手形を受け取り→手形貸付金で処理する。
2. 発送費（先方負担）は立替金ではなく、売掛金に含める。
3. $130,000 - 50,000 = 80,000$ は貸倒損失で処理する。
4. 振込手数料は支払手数料で処理をする。
5. 売却時の価額が $140,000$ ($700,000 - 560,000$)、 $20,000$ で売却すると $120,000$ が売却損になる。

第 2 問

1 月 1 日 再振替仕訳

(借) 保 険 料	14,000	(貸) 前 払 保 険 料	14,000
-----------	--------	---------------	--------

$\yen 24,000 \times 7 \text{ か月} \div 12 \text{ か月} = \yen 14,000$

8 月 1 日 保険料の支払い

(借) 保 険 料	26,400	(貸) 現 金	26,400
-----------	--------	---------	--------

12 月 31 日 繰延計上・損益振替

(借) 前 払 保 険 料	15,400	(貸) 保 険 料	15,400
(借) 損 益	25,000	(貸) 保 険 料	25,000

$\yen 26,400 \times 7 \text{ か月} \div 12 \text{ か月} = \yen 15,400$

保険料勘定 → 費用なので損益振替をおこない、帳簿を締め切ります。

前払保険料勘定 → 資産なので帳簿上の貸借差額を次期繰越として締め切ります。

1 月 1 日 再振替仕訳

(借) 保 険 料	15,400	(貸) 前 払 保 険 料	15,400
-----------	--------	---------------	--------

		保 険 料	
1/1	前払保険料	14,000	12/31 前払保険料 15,400
8/1	現 金	26,400	" 損 益 25,000
		40,400	40,400
1/1	前払保険料	15,400	

		前 払 保 険 料	
1/1	前月繰越	14,000	1/1 保 険 料 14,000
12/31	保 険 料	15,400	12/31 次 期 繰 越 15,400
		29,400	29,400
1/1	前期繰越	15,400	1/1 保 険 料 15,400

第3問

平成30年4月中の取引

2日	(借) 売 上	10,000	(貸) 売 掛 金	10,000
3日	(借) 未 払 金	86,000	(貸) 現 金	86,000
4日	(借) 仕 入	182,000	(貸) 前 払 金	30,000
			買 掛 金	150,000
			現 金	2,000
5日	(借) 旅 費 交 通 費	12,000	(貸) 仮 払 金	15,000
	現 金	3,000		
6日	(借) 所 得 税 預 り 金	13,000	(貸) 現 金	13,000
10日	(借) 現 金	50,000	(貸) 売 上	250,000
	売 掛 金	200,000		
12日	(借) 仕 入	120,000	(貸) 支 払 手 形	120,000
13日	(借) 租 税 公 課	3,000	(貸) 現 金	3,000
16日	(借) 買 掛 金	57,000	(貸) 支 払 手 形	57,000
18日	(借) 受 取 手 形	200,000	(貸) 売 上	200,000
20日	(借) 給 料	100,000	(貸) 所 得 税 預 り 金	8,000
			当 座 預 金	92,000
24日	(借) 当 座 預 金	175,000	(貸) 売 掛 金	175,000
25日	(借) 水 道 光 熱 費	73,000	(貸) 当 座 預 金	82,000
	通 信 費	9,000		
26日	(借) 備 品	354,000	(貸) 未 払 金	354,000
27日	(借) 支 払 手 形	80,000	(貸) 当 座 預 金	80,000
30日	(借) 借 入 金	200,000	(貸) 当 座 預 金	201,000
	支 払 利 息	1,000		

第4問

- 貸倒引当金は受取手形や売掛金に対する**評価**勘定である。
- 買掛金元帳は、仕入先ごとの買掛金の増減を記録する**補助簿**である。
- 建物の修繕によってその機能が向上し価値が増加した場合、**建物**勘定で処理する。
 ※ 固定資産の修繕のために支出した費用は、「資本的支出」と「収益的支出」に分類して処理をする。
 資本的支出：耐用年数の延長や、価値を高めるような支出 → 固定資産の増加として処理
 収益的支出：定期修繕など諸機能を維持するための支出 → 修繕費・修繕引当金で処理
- 3伝票制を採用している場合、入金伝票と出金伝票の他に、通常**振替**伝票が用いられる。
- 商品有高帳の払出欄の単価欄には商品の**原価**が記入される。

第5問

決算整理事項等

1. 現金過不足

(借) 通 信 費	800	(貸) 現 金 過 不 足	1,000
雑 損	200		

2. 前受金

(借) 売 上	20,000	(貸) 前 受 金	20,000
---------	--------	-----------	--------

3. 仮払金

(借) 備 品	120,000	(貸) 仮 払 金	120,000
---------	---------	-----------	---------

4. 貸倒引当金の設定

(借) 貸倒引当金繰入	7,000	(貸) 貸 倒 引 当 金	7,000
-------------	-------	---------------	-------

差額補充法： $¥360,000 \times 2\% - ¥200 = ¥7,000$

5. 売上原価の算定

(借) 仕 入	180,000	(貸) 繰 越 商 品	180,000
繰 越 商 品	203,000	仕 入	203,000

6. 減価償却

(借) 減 価 償 却 費	255,000	(貸) 備品減価償却累計額	255,000
---------------	---------	---------------	---------

減価償却費： 旧備品 $¥2,000,000 \div 8 \text{年} = ¥250,000$

減価償却費： 新備品 $¥120,000 \div 8 \text{年} \times 4 \text{か月} \div 12 \text{か月} = ¥5,000$

7. 支払家賃（費用の繰延）

(借) 前 払 費 用	15,000	(貸) 支 払 家 賃	15,000
-------------	--------	-------------	--------

8. 受取手数料（収益の繰延）

(借) 受 取 手 数 料	30,000	(貸) 前 受 収 益	30,000
---------------	--------	-------------	--------

$¥360,000 \times 1 \text{か月} \div 12 \text{か月} = ¥30,000$

9. 支払利息（費用の見越）

(借) 支 払 利 息	3,500	(貸) 未 払 費 用	3,500
-------------	-------	-------------	-------

$¥200,000 \times 3\% \times 7 \text{か月} \div 12 \text{か月} = ¥3,500$